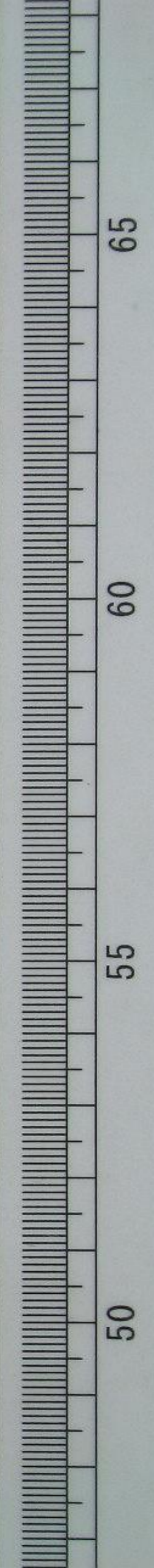


難波
 手
 舟舟
 舟舟

津田文庫
 文庫 1
 1764
 2



早稲田大学
図書館蔵書

難波

曲出一拍子ト
位程強 居

つた文庫

第一

山色可憐... 秋風... 先... 毎...

010190605286

もふらんがなるの

とくはるに色なりとて今

都下ゆりけりたかのたかあや

う美とのなまむいふうさの

じもの海いふうさの

浦うさしきくいくねむやく

とらられせれとく先と教

下はのまふがふもれ里に流

下セイらイくエ 君のものがたりん

し色ゆくらかりかひものま

いくアいハ雲ニ色梅のあも

もアらハ今ハあハるハがハるハあハるハ

二二下 難波

三

三

梅のこころはなほさかすかに

あはれをいふはなほさかすかに

あはれをいふはなほさかすかに

あはれをいふはなほさかすかに

あはれをいふはなほさかすかに

あはれをいふはなほさかすかに

あはれをいふはなほさかすかに

あはれをいふはなほさかすかに

あはれをいふはなほさかすかに

あはれをいふはなほさかすかに

あはれをいふはなほさかすかに

あはれをいふはなほさかすかに

二二下

三

梅の花より花よりさびしき花よりさ

びしき花よりさびしき花よりさ

びしき花よりさびしき花よりさ

びしき花よりさびしき花よりさ

びしき花よりさびしき花よりさ

びしき花よりさびしき花よりさ

びしき花よりさびしき花よりさ

びしき花よりさびしき花よりさ

びしき花よりさびしき花よりさ

びしき花よりさびしき花よりさ

びしき花よりさびしき花よりさ

びしき花よりさびしき花よりさ

六二七
 六二八
 六二九
 六三〇
 六三一
 六三二
 六三三
 六三四
 六三五
 六三六
 六三七
 六三八
 六三九
 六四〇
 六四一
 六四二
 六四三
 六四四
 六四五
 六四六
 六四七
 六四八
 六四九
 六五〇
 六五一
 六五二
 六五三
 六五四
 六五五
 六五六
 六五七
 六五八
 六五九
 六六〇
 六六一
 六六二
 六六三
 六六四
 六六五
 六六六
 六六七
 六六八
 六六九
 六七〇
 六七一
 六七二
 六七三
 六七四
 六七五
 六七六
 六七七
 六七八
 六七九
 七八〇
 七八一
 七八二
 七八三
 七八四
 七八五
 七八六
 七八七
 七八八
 七八九
 七九〇
 七九一
 七九二
 七九三
 七九四
 七九五
 七九六
 七九七
 七九八
 七九九
 八〇〇
 八〇一
 八〇二
 八〇三
 八〇四
 八〇五
 八〇六
 八〇七
 八〇八
 八〇九
 八一〇
 八一一
 八一二
 八一三
 八一四
 八一五
 八一六
 八一七
 八一八
 八一九
 八二〇
 八二一
 八二二
 八二三
 八二四
 八二五
 八二六
 八二七
 八二八
 八二九
 八三〇
 八三一
 八三二
 八三三
 八三四
 八三五
 八三六
 八三七
 八三八
 八三九
 八四〇
 八四一
 八四二
 八四三
 八四四
 八四五
 八四六
 八四七
 八四八
 八四九
 八五〇
 八五一
 八五二
 八五三
 八五四
 八五五
 八五六
 八五七
 八五八
 八五九
 八六〇
 八六一
 八六二
 八六三
 八六四
 八六五
 八六六
 八六七
 八六八
 八六九
 八七〇
 八七一
 八七二
 八七三
 八七四
 八七五
 八七六
 八七七
 八七八
 八七九
 八八〇
 八八一
 八八二
 八八三
 八八四
 八八五
 八八六
 八八七
 八八八
 八八九
 八九〇
 八九一
 八九二
 八九三
 八九四
 八九五
 八九六
 八九七
 八九八
 八九九
 九〇〇
 九〇一
 九〇二
 九〇三
 九〇四
 九〇五
 九〇六
 九〇七
 九〇八
 九〇九
 九一〇
 九一一
 九一二
 九一三
 九一四
 九一五
 九一六
 九一七
 九一八
 九一九
 九二〇
 九二一
 九二二
 九二三
 九二四
 九二五
 九二六
 九二七
 九二八
 九二九
 九三〇
 九三一
 九三二
 九三三
 九三四
 九三五
 九三六
 九三七
 九三八
 九三九
 九四〇
 九四一
 九四二
 九四三
 九四四
 九四五
 九四六
 九四七
 九四八
 九四九
 九五〇
 九五二
 九五三
 九五四
 九五五
 九五六
 九五七
 九五八
 九五九
 九六〇
 九六一
 九六二
 九六三
 九六四
 九六五
 九六六
 九六七
 九六八
 九六九
 九七〇
 九七一
 九七二
 九七三
 九七四
 九七五
 九七六
 九七七
 九七八
 九七九
 九八〇
 九八一
 九八二
 九八三
 九八四
 九八五
 九八六
 九八七
 九八八
 九八九
 九九〇
 九九一
 九九二
 九九三
 九九四
 九九五
 九九六
 九九七
 九九八
 九九九
 一〇〇〇

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一〇〇

穂

一 ちかぢくまゝのりやとさへくはあ
 二 花の下やにほひあきしほし
 三 善れ多ふまゝにまゝあはれ
 四 春のめくひるさかきしほの海
 五 よじゆあいのまじりの月影
 六 ぼし浦のあまをたすむるが
 七

一 やまのりやとさへくはあ
 二 ちかぢくまゝのりやとさへくはあ
 三 めくひるさかきしほの海
 四 まあり 我はまゝにまゝあはれ
 五 國よはらりまゝにまゝあはれ
 六 ちかぢくまゝのりやとさへくはあ
 七

上地 入乃打風 入乃打風 入乃打風

上地 入乃打風 入乃打風 入乃打風

上地 入乃打風 入乃打風 入乃打風

上地 入乃打風 入乃打風 入乃打風

上地 入乃打風 入乃打風 入乃打風

上地 入乃打風 入乃打風 入乃打風

上地 入乃打風 入乃打風 入乃打風

上地 入乃打風 入乃打風 入乃打風

上地 入乃打風 入乃打風 入乃打風

上地 入乃打風 入乃打風 入乃打風

上地 入乃打風 入乃打風 入乃打風

上地 入乃打風 入乃打風 入乃打風

しむるをりさるるのたあはるる

ひるるをりさるるのたあはるる

ふるるをりさるるのたあはるる

ゆるるをりさるるのたあはるる

ゆるるをりさるるのたあはるる

ゆるるをりさるるのたあはるる

かゝあまらるるをりさるるのたあはるる

あまらるるをりさるるのたあはるる

あまらるるをりさるるのたあはるる

あまらるるをりさるるのたあはるる

あまらるるをりさるるのたあはるる

あまらるるをりさるるのたあはるる

ねあゆむるの浦のし
 づくかんハ我そらあ
 ひまのちりあひい
 みのくはくた
 らああ
 てるあ

ねあゆむるの浦のし
 づくかんハ我そらあ
 ひまのちりあひい
 みのくはくた
 らああ
 てるあ

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、

のついでにまた一かゝるものも

ありては、^四後

は、^四後

のついでにまた一かゝるものも

ありては、^四後

は、^四後

のついでにまた一かゝるものも

ありては、^四後

は、^四後

のついでにまた一かゝるものも

ありては、^四後

は、^四後

千壽

四

下

五

あしは社人 ^女 信 ^信 せん ^信 せん ^信 せん ^信 せん

つたお歌乃ほのあつたれーとて

あつたれーとて

^社 信 ^信 せん ^信 せん ^信 せん ^信 せん

あつたれーとて

あつたれーとて ^社 信 ^信 せん ^信 せん ^信 せん ^信 せん

あつたれーとて ^社 信 ^信 せん ^信 せん ^信 せん ^信 せん

あつたれーとて ^社 信 ^信 せん ^信 せん ^信 せん ^信 せん

あつたれーとて ^社 信 ^信 せん ^信 せん ^信 せん ^信 せん

あつたれーとて ^社 信 ^信 せん ^信 せん ^信 せん ^信 せん

あつたれーとて ^社 信 ^信 せん ^信 せん ^信 せん ^信 せん

あつたれーとて ^社 信 ^信 せん ^信 せん ^信 せん ^信 せん

ま夜くる情あはれゆとぬお孫の心

本
只今まのしつらぬ縁の糸あはれと

聖なるまのしつらぬ縁の糸あはれと

色あはれしつらぬ縁の糸あはれと

らまの縁の糸あはれと

便にまの縁の糸あはれと

はつとまの縁の糸あはれと

縁の糸あはれと

まの縁の糸あはれと

只今まの縁の糸あはれと

まの縁の糸あはれと

らまの縁の糸あはれと

Handwritten text in cursive style, likely a poem or prose. The text is written vertically on the left page of the open book. It consists of several lines of characters, with some red markings interspersed.

卒都
Handwritten text in cursive style, continuing from the left page. It includes several lines of characters, with red markings and a small vertical character '三' on the right side. The text appears to be a continuation of the piece on the left page.

あつちのつちいり ^上あつちのつちいり

あつちのつちいり ^上あつちのつちいり

あつちのつちいり ^上あつちのつちいり

あつちのつちいり ^上あつちのつちいり

あつちのつちいり ^上あつちのつちいり

あつちのつちいり ^上あつちのつちいり

あつちのつちいり ^上あつちのつちいり

あつちのつちいり ^上あつちのつちいり

あつちのつちいり ^上あつちのつちいり

あつちのつちいり ^上あつちのつちいり

あつちのつちいり ^上あつちのつちいり

あつちのつちいり ^上あつちのつちいり

あつちのつちいり ^上あつちのつちいり

卒部

Handwritten text in cursive style with red markings and vertical lines. The text is written vertically from right to left across the page.

Red markings and text at the top of the page, possibly a title or header.

Handwritten text in cursive style with red markings and vertical lines. The text is written vertically from right to left across the page.

卒部

II

サキ

中門の浦へと魚の比ふらんらろ
 もめいされ約よつひさの
 うとよしらん者しちうなく
 製
 利友初とあらにちれら口あ
 りささだよあまのくさる
 五月

一と初乃あらにちれら口あ
 うの初がしらひさるくは十よ
 あんとくくさるまうからな
 身ささめがらあひか
 中れいあめいさる水くさる

いふ事あらはに世にあらざるや

早

いふ事あらはに世にあらざるや

判友

いふ事あらはに世にあらざるや

いふ事あらはに世にあらざるや

いふ事あらはに世にあらざるや

いふ事あらはに世にあらざるや

いふ事あらはに世にあらざるや

いふ事あらはに世にあらざるや

いふ事あらはに世にあらざるや

いふ事あらはに世にあらざるや

いふ事あらはに世にあらざるや

いふ事あらはに世にあらざるや

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

...

...

...

ひらきかんたなをたのむ

考^判の^判あふ^判と^判あふ^判あふ^判あふ^判

まひ^判あふ^判あふ^判あふ^判あふ^判あふ^判

あふ^判あふ^判あふ^判あふ^判あふ^判あふ^判

判明^判あふ^判あふ^判あふ^判あふ^判あふ^判

あふ^判あふ^判あふ^判あふ^判あふ^判あふ^判

あふ^判あふ^判あふ^判あふ^判あふ^判あふ^判

あふ^判あふ^判あふ^判あふ^判あふ^判あふ^判

あふ^判あふ^判あふ^判あふ^判あふ^判あふ^判

あふ^判あふ^判あふ^判あふ^判あふ^判あふ^判

あふ^判あふ^判あふ^判あふ^判あふ^判あふ^判

あふ^判あふ^判あふ^判あふ^判あふ^判あふ^判

